

学べる
憩える
快適空間

図書館の魅力

『宿題に困ったら…』

子どもから大人まで幅広くご利用いただける憩いの場「図書館」。その魅力についてお伝えしていきます。今回は、7・8月のテーマコーナー『課題図書・自由研究』と7・8月のミニコーナー『戦争と平和』をご紹介します(7月7日(水)~9月6日(月))。

テーマコーナー『課題図書・自由研究』



今年の課題図書や自由研究の参考になる本をたくさん用意しています。

「読書感想文の本は何を読もう」「自由研究の参考になる本はないかな」など、そんなときは、ぜひ図書館にお越しください。

- ※小学生用の課題図書は江島分館にもあります。
- ※借りたい本が貸出中の場合は、予約できます。

ミニコーナー『戦争と平和』



8月15日の終戦記念日にちなみ、戦争と平和について考えるきっかけになるような本を展示しています。

太平洋戦争(1941年~1945年)では、兵士のみならず、多くの人が命を落としました。こうした悲惨な過去をしっかりと見つめ、

平和への決意を新たにしましょう。

読書は、語彙力や文章力が養われ、自然とたくさん言葉が身に付くなど、メリットがたくさんあります。

コロナ禍での夏休み。おうち時間に本を読みましょう。



ひとまち・モータースポーツ

モータースポーツお宝探検隊 vol.3

田中健児さん(38歳、算所)が鈴鹿サーキットでF1を初観戦したのは1988年で、なんと5歳のときでした。そこから熱狂的なF1ファン、4輪モータースポーツファンへとまっしぐら。長じて田中さんはアーティストの道へ。独学で伊勢型紙をマスターし、F1などを題材とした多くの作品を創り上げました。田中さんの部屋にはF1鈴鹿日本GPの歴代優勝者やマシンを精密に彫り描いた作品がずらりと並んでいます。しかも、それらの多くがドライバーのサイン入りという、まさにファン垂涎のお宝ばかり。それぞれ2枚制作し、その内の1枚がサインを書いてもらった作品だそうです。中でも世界3大レースの一つ、アメリカの「インディ500」で2017年に日本人初の優勝を果たした佐藤琢磨選手の感動のシーンを彫り描いた作品が光ります。

作品を前に「いつかF1公認のアーティストになりたいですね」と夢を語る田中さん。F1を初めて観戦した33年前の衝撃から現在までF1への情熱は尽きることがありません。



▲2017年に佐藤選手が「インディ500」で優勝したシーンを彫り描いた伊勢型紙

■中野能成(鈴鹿モータースポーツ友の会 事務局)

キーボード



日本の四季の豊かさを表す言葉としてよく用いられる「二十四節気」や「雑節」。この内、暦の上で梅雨入りを示す「入梅」は、6月11日ごろとされていますが、今年の東海地方は5月16日に梅雨入りしました。統計史上2番目に早い記録だそうです。近年、全国各地で記録的な大雨や猛暑などによる被害が出ており、昔からの気象への概念が崩れつつあるように感じます。

今回の特集では、災害に備えるための準備すべき点について、段階的に5つのポイントに分類して紹介しました。この5月から適用された新しい避難情報や危機管理型水位計の活用など、今知っていたきたい情報ばかりです。

今までの常識には収まらない現在の気象状況とはいえ、これからも変わらない肝心なこと。それは「事前の備え」に他なりません。皆さんも日頃からの備えを万全にしておきましょう。(正)